

# 「モデル教育研修カリキュラム」および「能力評価・検定シート」

職業能力評価シートを活用することで育成課題が明確になりますが、問題はそのあとの人材育成です。「モデル教育研修カリキュラム」はこの課題に応えるためのツールであり、人材育成のための教育訓練カリキュラムが例示されています。これを参考にしながら、自社の教育計画の見直しを進めてみてはいかがでしょうか。

さらに、その育成效果を評価・検定するためのツールである「能力評価・検定シート」を併用することで、育成效果がどの程度上がっているかをチェックしてみるとよいでしょう。

モデル教育研修カリキュラム		
課題（課題）	習得目標	レベル
教育研修後の習得能力水準	研修現場において、安全・安心をお客様に提供しながら、お客様への後援や対応開発が確実に行える能力水準。	
教育研修後に期待される習得能力の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>※商品・商品で挨拶を行い、顧客に対して言葉をもって礼儀正しく、不愉快を感ぜないような立ち振る舞いを行っている。</li> <li>※1分以内の短い時間でお客様の商品のセールスポイントや商品の購入方法、商品説明を行っている。</li> <li>※決められた手順に基づいて商品・在庫管理や商品の販売・販売等を行っている。</li> </ul>	
区分	項目	教育研修の内容
習熟させる (0JT)	コーレーサーワーク基本実務	コンピュータ実務、社内での印刷の実務、IT業務の応用、種別ごとの研修への参加、商品の安全・安心の提供、清掃・メンテナンス、クレーム・トラブル対応、非常時対応など
	お客様対応実務	接客対応実務、商品説明実務、注文受付実務、包装実務、商品補充実務など
	検定・卒業検定実務	各課業務の検定、商品検定実務、お客様サービスの提供・提供、商品の検定補助、商品検定、商品の検定・商品検定など
習得させる (0JT・自己啓発)	検定業務	検定の検定(商品・サービス検定、安全・安心検定)、検定の検定、検定の検定、検定の検定など
	IT/PC実務	社内業務規定、行動規範、就業規則及び就業環境、法令知識(知覚禁止法、食品衛生法、食品衛生法(食品)、食品衛生法)、食品衛生法、食品衛生法など
	接客対応(接客実務・接客実務)	接客対応(接客実務・接客実務)、自社の接客実務、接客実務、接客実務、接客実務、接客実務など
	検定・卒業検定	自社の検定実務、検定実務、検定実務、検定実務、検定実務、検定実務など

「習熟させる(0JT)」欄には、どのような仕事を経験させればよいかが示されています。

「習得させる(0JT・自己啓発)」欄には、どのような事項を学習させればよいかが示されています。

### 能力評価・検定シート

区分	項目	評価項目	評価内容	評価結果	評価者	評価日
習熟させる (0JT)	コーレーサーワーク基本実務	1. 商品の安全・安心の提供	商品の安全・安心の提供が確実に行われている。	5		
		2. 商品の説明	商品の説明が的確に行われている。	5		
習得させる (0JT・自己啓発)	接客対応実務	1. 接客対応	接客対応が適切に行われている。	5		
		2. 商品の検定	商品の検定が適切に行われている。	5		
		3. 商品の補充	商品の補充が適切に行われている。	5		
		4. 商品の販売	商品の販売が適切に行われている。	5		

実際にどの程度スキルが身についたかをチェックリスト方式で簡単に確認できます。